線量低減の国際動向



ラフォーレ博士(欧州技術センター)が ISOE ネットワークの活用状況の例を報告した。ラフォーレ博士の発表は、ISOEの国際ワークショップ、ベンチマーキング、サイト訪問、Q&A等を通した情報交換と集約の重要性を訴える内容であり、他の発表とは趣を異にしたものであった。Q&Aの例として、EDFからの内部被ばくに関る質問状を ISOEの 4技術センターを通して世界中に E-MAIL で送ったところ、2 週間

以内に約20の回答が得られ、それを1つの情報シートにまとめたとのことで、得られた回答の集約と最適化について述べられた。スウェーデン、イギリス、米国以外は、内部被ばくは許容できない、最適化の対象ではないという回答であり、対策として防護服、防護機器、除染、テント、訓練、バイオアッセイ等が挙げられた。米国 San Onofre では個人エアサンプラを使用している。

最後に、2006 年 3 月 15~17 日にドイツで開催される第 5 回欧州 ALARA ワークショップへの参加を呼びかけた。







